

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第2部門第4区分

【発行日】平成18年11月9日(2006.11.9)

【公開番号】特開2005-153487(P2005-153487A)

【公開日】平成17年6月16日(2005.6.16)

【年通号数】公開・登録公報2005-023

【出願番号】特願2004-4725(P2004-4725)

【国際特許分類】

B 4 1 M 5/00 (2006.01)

B 4 1 M 5/50 (2006.01)

B 4 1 M 5/52 (2006.01)

B 4 1 J 2/01 (2006.01)

【F I】

B 4 1 M 5/00 B

B 4 1 J 3/04 1 0 1 Y

【手続補正書】

【提出日】平成18年9月20日(2006.9.20)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

支持体上に平均二次粒子径500nm以下の無機微粒子及び樹脂バインダーを含有する少なくとも1層のインク受容層を設けた記録材料において、該インク受容層がホウ素化合物及び一级アミノ基を分子内に2個以上有する化合物を含有し、且つ樹脂バインダーとしてケト基を有する樹脂バインダーを含有することを特徴とするインクジェット用記録材料。

【請求項2】

前記樹脂バインダーとして、ケト基を有する樹脂バインダー及び未変成ポリビニルアルコールを含有し、ケト基を有する樹脂バインダーと未変成ポリビニルアルコールの質量比が3/7~7/3であることを特徴とする請求項1に記載のインクジェット用記録材料。

【請求項3】

支持体上に平均二次粒子径500nm以下の無機微粒子及び樹脂バインダーを含有する少なくとも1層のインク受容層を設けたインクジェット用記録材料の製造方法において、支持体に、ホウ素化合物及び一级アミノ基を分子内に2個以上有する化合物を含有し、且つ樹脂バインダーとしてケト基を有する樹脂バインダーを含有する塗工液を塗布し、10

以下の冷風で塗工液をゲル化させた後、乾燥終了点の温度が50以上で乾燥することを特徴とするインクジェット用記録材料の製造方法。